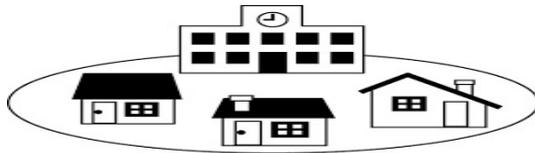


とうせい コミスク便り



令和4年10月27日
10月号

5年生・総合的な学習の時間「田んぼの学校」 稲刈り編



けがをしないように、稲わらを持つ手の親指を下にします。



実った稲をひたすら刈っていきます。足腰に結構負担がかかりますががまんがまん・・・



今年も豊作！刈った稲を担いで運びます。



稲の乾燥「はさがけ」をしました。



10月の脱穀作業の日まで天日で干しました。

新型コロナウイルス感染症拡大によって様々な制限がありましたが、今年も素晴らしい秋晴れのもと9月21日（水）に予定通りの収穫体験ができました。鎌で刈り取り、ひもで縛り、はさがけの体験の他、じっくりとお米のことや農家の仕事について質問することができました。お米を作ることの大変さを身をもって知り、とても貴重な体験ができました。

【まちの先生方】

- ・おやじの会：島田謹介さん（お米農家）
- ・東和土地改良区：石川健太さん、太田宏樹さん
- ・上川総合振興局中部整備室：一戸颯心さん、小俣芳春さん
- ・町役場産業振興課：須見優子さん
- ・町役場地域の元気づくり課：加藤孝さん、水上大二さん

コミスク便りは東聖小HPからも閲覧できます。

QRコードはこちら→



脱穀編



輪のようなものがついたドラムが回り、粒を取り離します。

籾殻を取り除きます。詰まらないように少しずつ入れます。

回転している鉄の網で、屑米と分別します。



【まちの先生方】

- ・おやじの会：島田さん
- ・東和土地改良区：石川さん
岡田さん
- ・上川中部整備室：小俣さん
- ・町産業振興課：須見さん
奥崎さん
村椿さん
- ・町地域の元気づくり課：
加藤さん
水上さん
- ・地域おこし協力隊 関口さん

10月13日（木）、稲刈りに続く最高の秋晴れの中、脱穀し、無事に玄米にできました。自分たちで植えた稲がいつも見る米粒に近付いていく様子に興味津々でした。活動のまとめでは、島田さんが「お米に興味をもってもらうこと、東神楽町はおいしいお米がとれる町だと知ってもらうことができうれしい」と感想を述べていました。農業のこと、食のことなど、様々な視点から自分たちのふるさを見つめ直す学習になったのではないかと思います。この後は、島田さんに精米していただき、12月に試食会をする予定です。また、10月21日（金）には全校給食でも食べました。

来年の栽培に向けて



今年も学校の教材園で育てた作物の、全ての収穫を終えました。

10月に入り、片付けの後、前田牧場さんの堆肥を入れました。教職員総出で、堆肥を学級園にまんべんなく行き渡るように広げました。

翌日、おやじの会会長の島田さんにトラクターでさらにすき込んでもらいました。これで、来年も作物が豊かに育つことと思います。